

6月18日午前に発生した地震への対応について

【ご質問】（投稿日：2018年6月18日）

2018年6月18日、大阪府北部を震源とする大きな地震が発生し、各地で被害があったほか、設備点検などの影響で交通機関も大幅に乱れました。

当日は京都大学は創立記念日で講義はなかったため、通学途中や構内にいた学生は少なかったことが予想されますが、学生には貴重な3連休を使い帰省していたり、遊びに出かけたりにしていた学生も少なからずいたのではないのでしょうか。

しかしながら、地震から10時間以上が経過した現在においてもKUMOIには大学側からのメールが一切来ていない他、京都大学公式HP、クラスには本地震に関して一切のお知らせ等は掲載されていません。

一切の連絡や掲示がない以上、大学側がどのように本地震後の対応をしていたのかわからず、休講日ではありますが一学生として不安になります。

そこで以下の点に関して提案し、お尋ねします。

1. 京都大学では「安否確認システム」を運用しておられ、現在登録ができる状態になっています。せっかく運用されておられるのですから、登録するよう促すメールを学生に送信する等の対応をとってはいかがでしょうか。
2. 今回の地震が発生した後、大学としてどのような対応にあたっておられましたでしょうか。
3. 上の提案・質問ともかぶる面がありますが、京都大学も教育機関としての側面を持つ以上、特に災害時には学生の保護や安否確認・情報提供などの役割を十分に果たすべきものと考えます。その点に関してはどうお考えでしょうか。

ご対応およびご返答のほどよろしく申し上げます。

【回答】（回答日：2018年6月20日）

（総務担当理事 森田正信、施設担当理事・副学長 佐藤直樹、学生担当理事・副学長 川添信介）

「安否確認システム」の運用は、京都市、宇治市域で震度6弱以上の地震が発生したと

き及び前記以外の地震や台風、パンデミックの場合で、総長が決定したときとしています。今回の地震につきましては、対象地域の最大震度が6未満であったためメールの一斉送信を行うに至りませんでした。通学・通勤圏内で大きな被害が出ていることを受け止め、ご指摘の点も含めまして今後の緊急対応のあり方の一層の改善に努めます。

なお、京都大学危機管理規程に基づき、地震発生後すぐに、関係教職員が参集し、被災状況の調査・点検、復旧活動等を実施しました。

今回の地震においては、今後、学生等に対して被災状況等の調査を行い、修学に必要な支援等の情報提供を行っていく予定としています。

なお、今回の地震による大学全体としての休講は予定しておりません。今後、余震の状況により大学全体として休講の決定をしたような場合には、速やかにホームページ及びKULASISにて通知いたします。また、部局単位や授業単位で休講することもありますので、部局のホームページ等もご確認願います。

交通機関の乱れ等による休講については以下 URL のページを参考にしてください。

<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/zenkyo/weather>